

安全管理セミナー

石川交通がセミナー

石川交通(金沢市、安藤和人社長・265台)は9日、金沢市の本社で運輸安全マネジメント・キックオフセミナーを開催した。

旅客自動車運送事業運輸規則の改正で4月からタクシーの対象車両規模が300台から200台に変更になったのを受けて開催した。同社の安藤社長はじめ幹部・営業所長、労働組合役員らが参加した。

北陸信越運輸局の猿谷克幸首席自動車監査官、自動車事故対策機構石川支所の多田友貴氏が出席し、運輸安全マネジメントの制度の概要について多田氏が説明、猿谷氏が講評を行った。

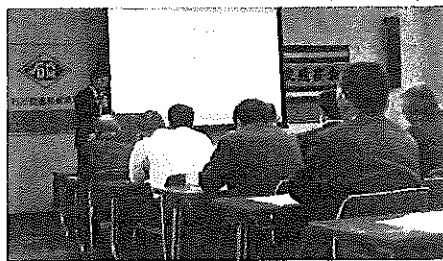


冒頭、安藤社長は働き方改革に関する委員会を労働組合と立ち上げたことにも

触れ、「今年度は組織の点検、見直しを肝にする。運輸安全に向けた取り組みもその1つで、安全・安心の徹底、お客様満足度を高める全社的な体制の確立を目指したい」と述べた。写真。キックオフを踏まえ同社

では、安藤社長をトップとした運輸安全マネジメント委員会を設置、月1回の運輸安全マネジメント会議で情報共有や対策を協議する。5月には3日間に分けて全従業員を対象にした運輸安全マネジメントセミナーを開催することになっている。

運輸安全マネジメント対象事業者は、運輸安全規則改正を受け3カ月以内に安全管理規程の設定と安全統括管理者の選任(解任)の届け出が必要となる。事業年度経過後には100日以内に輸送の安全に関する情報を公開することになっている。



安全運転意識を高めたセミナー＝金沢市内で

タクシー運転手が安全意識を高める金沢、石川交通セミナー  
タクシースターの石川交通(金沢市)は二十四日までの三日間、運転手の安全意識を高める「運輸安全マネジメントセミナー」を金沢

市内で開いた。

独立行政法人自動車事故対策機構石川支所の担当者が講師となり、事故防止に向け「注意喚起だけでは事故は減らない。大切なのは再発防止と未然防止の対策」と指摘。「事故やヒヤリ・ハット(した経験)などの情報を集め、活用することで再発防止の対策につながる」と述べた。

セミナーでは看護師が運転をする上で重要な健康管理について解説した。セミナーは法令などで開催が定められている。三日間で石川県内全域の運転手ら約三百五十人が受講した。

(鳴村光希子)